

甲斐市地域公共交通計画の策定について

1 甲斐市地域公共交通計画策定支援業務に係る業者選考審査結果について

- (1) 審査日 令和6年5月24日(金)
- (2) 提案事業者 株式会社日建設計総合研究所 (1者提案)
- (3) 提案価格 9,100,000円(税抜き) ※提案上限額9,100,000円(税抜き)
- (4) 審査結果 技術点 73.8点/90点、価格点 10点/10点
合計点 83.8点/100点

株式会社日建設計総合研究所を優先交渉権者として選定

- (5) 講評
 - ・関連会社への協力体制が考慮されている。
 - ・他県、他自治体での実績がある。
 - ・現実的なスケジュールが提案されている。
 - ・計画を実行するために市の各部署の役割が具体的に提案できれば高い評価ができた。

2 甲斐市地域公共交通計画策定の概要

(1) 経過

地域公共交通計画は、地域の移動手段を確保するため地方公共団体が交通事業者や住民等地域の関係者と協議し、「地域にとって望ましい地域旅客輸送サービスの姿」を明らかにするマスタープラン(ビジョン+事業体系を記載するもの)で、原則全ての地方公共団体が協議会方式等で作成することを努力義務としている。

また、令和2年11月の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に合わせて、地域公共交通の作成及び計画における補助系統の位置付けが補助要件化されたことから、新たに地域公共交通計画を策定する。

(2) 策定方針

甲斐市では、平成22年3月に「甲斐市地域公共交通総合連携計画」を策定し、計画に基づく持続可能で望ましい公共交通ネットワークの構築に向けた施策を推進してきたが、少子高齢化に加え、コロナ禍の影響など公共交通を取り巻く環境が大きく変化していることから、目指すべき公共交通ネットワークの在り方についての検討が求められている。

こうした公共交通を取り巻く社会環境の変化や関係法令の改正、ICTを活用した公共交通サービスの導入や交通分野でのゼロカーボン・シティへの貢献、

更には令和4年度から継続して実施しているAIオンデマンド交通の実証結果等も踏まえ、地勢、人口動態等の地域の現状の捕捉、甲斐市総合計画や立地適正化計画等の上位、関連計画との連携、市民等へのアンケート調査やパブリックコメント等を通じたニーズの把握を行い、利便性と効率性のバランスの取れた持続可能な公共交通ネットワークを構築することを目的に、目的達成のために必要な事業及び数値目標を盛り込んだ実効性のある計画とする。

(3) 計画期間

令和7年度(2025年度)～令和11年度(2029年度) 5か年

(4) 策定スケジュールについて

スケジュール 工程	スケジュール									
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
(1) 現況の把握・整理	→									
(2) 公共交通等に対する調査		→								
(3) 課題の整理・施策の検討		→								
(4) 地域公共交通計画案の作成				→						
(5) 地域懇談会						●				
(6) パブリックコメント								●		
(7) 計画策定									●	
(8) 地域公共交通会議	●				●			●	●	

3 公共交通等に対する調査について

(1) 調査のねらい

公共交通の利用の有無に関わらない甲斐市民の移動実態、公共交通の潜在需要や交通弱者の移動制約実態を明らかにするとともに、市民バス利用者の移動実態や新たな交通サービスによる市民バスの代替可能性、交通サービスを利用する市民側の視点を明らかにすることを目的に、市民アンケート調査と公共交通利用者アンケート調査を実施する。

(2) 市民アンケート

① 調査のポイント

- A) 市民の移動実態を踏まえ、公共交通利用の潜在需要が把握できる調査方法とする。
- B) 高齢者のほか、子育て世代、さらには子供たちの自律的な移動等、交通弱者の移動制約実態を把握することで、全ての市民がストレスなく移動できる交通施策を目指す。
- C) 既存のバス路線（市民バスのほか、山梨交通バス路線を含む）の利用促進のため、AI オンデマンドバス（かいのり）やモビリティハブの利用意向を把握できる調査方法とする。
- D) 交通施策の効果的な実施に向け、公共交通に対する市民の満足度を経年で比較できる調査方法とする。

② 調査概要

項目	内容
調査内容	公共交通の利用状況、現在の公共交通に対する不満点、改善要望 等
調査対象	甲斐市全域
調査対象者	甲斐市公式 LINE の友だち登録者で市内に在住する 15 歳以上の男女
配布数	2,000 枚 第 2 次甲斐市総合計画のアンケート調査結果との経年比較を図るため、同配布数を設定
調査方法	WEB アンケート調査
調査期間	令和 6 年 7 月の実施を予定（回答期間は 2 週間を予定）

③設問内容（案）

設問の視点	設問の目的	設問の内容
市民の移動全般	市民の日常の外出移動の実態の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動の目的、目的地 ・ 移動の手段、時間帯 等
公共交通の移動	公共交通の利用状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の利用の有無 ・ 移動の目的、目的地 ・ 移動の手段、頻度、時間帯 等
	現在の公共交通に対する不満点・改善要望の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の満足度・充実度 ・ 改善を求める点 ・ 市民バス路線の今後のあり方等
将来的な交通体系	新たな交通サービスの潜在需要・想定される利用状況の変化の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI オンデマンドバス『かいのり』やモビリティハブの認知度 ・ 『かいのり』やモビリティハブをより利用しやすくするために必要なこと 等
回答者属性	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性別、年代、免許返納の状況 等

(3) 公共交通利用者アンケート調査

①調査のポイント

- A) 市民バスの実際の利用者の移動実態や問題を把握できる調査方法とする。
- B) AI オンデマンド交通および自動運転車両について、過年度の実証運行の知見も活用し、将来的な市民バスの代替手段としての可能性を把握できる調査方法とする。
- C) AI オンデマンド交通やモビリティハブといった新たな施策について、将来的な利用者の意向を把握できる調査方法とする。

②調査概要

項目	内容
調査内容	市民の日常の外出移動の実態、将来的な交通体系に向けた移動手段等の変化、公共交通の利用状況、現在の公共交通に対する不満点、改善要望 等
調査対象	甲斐市民バス（6系統8路線）の利用者
調査対象者	市民バス利用者

項目	内容
配布数	250 枚（1 週間に 1 回程度の利用頻度と仮定し、1 日あたりの市民バスの利用者数に 7 を乗じて算出） ※バス車内に 1 週間設置（運転手から回答依頼を呼びかけ） ※QR コードにより Web 回答も併用し、効率的な調査の実施も検討
抽出方法	バスの乗降者（バス乗車時に配布）
調査方法	郵送による調査 ※QR コードにより Web 回答も併用し、効率的な調査の実施も検討
調査期間	令和 6 年 8 月の実施を予定（回答期間は 2 週間を予定）

③設問内容（案）

設問の視点	設問の目的	設問の内容
市民バスの移動	市民バスの利用状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> 市民バス移動の目的、目的地 乗車路線、乗降バス停 利用の頻度、時間帯 等
	現在の市民バスに対する不満点・改善要望の把握	<ul style="list-style-type: none"> 市民バスの満足度・充実度 改善を求める点 市民バス路線の今後のあり方 等
将来的な交通体系	新たな交通サービスの潜在需要・想定される利用状況の変化の把握	<ul style="list-style-type: none"> AI オンデマンドバス『かいのり』やモビリティハブ、自動運転や有償旅客運送の認知度 『かいのり』やモビリティハブをより利用しやすくするために必要なこと 等
回答者属性	—	<ul style="list-style-type: none"> 性別、年代、免許返納の状況 等